

まちのできごと・マンスリーでお知らせします。

9/20 スプラトゥーンで北海道制覇  
千歳市塗装倶楽部が市長表敬



人気ゲーム《スプラトゥーン3》の大会、スプラトゥーン甲子園2023の北海道地区大会が開催され、市内の小学生チーム《千歳市塗装倶楽部》が優勝を飾りました。大会の試合形式は、4人のチーム同士で争う《ナワバリバトル》。フィールドをインクで塗り合い、塗った面積の大きさを競います。千歳市塗装倶楽部は、リーダーの柴多 武蔵さん、中沢小春さん、岩田 すすさん、岩田 とわさんの4人で構成されたフレッシュなチーム。6月に札幌市で開催された北海道地区大会 DAY 2 を制し、12月の全国大会への切符を手に入れました。表敬のため市役所を訪れた4人は、それぞれ全国大会に向けた抱負を披露。岩田 すすさんは「千歳市塗装倶楽部は攻撃力が高く、意外性のある戦い方が得意。練習を重ねても頑張りたい」と話しました。

9/9 幅広い年齢層が参加  
千歳市総合防災訓練



市民の防災意識の高揚、市と防災関係機関との連携強化などを目的とした千歳市総合防災訓練を防災学習交流施設「そなえーる」で実施しました。今回は、市民の皆さんがイメージして参加しやすい訓練となるよう、《知る・伝える》《助ける・守る》《備える》の3つのテーマを明示したほか、《防災フェスタ》を同時開催することで、自主防災組織や町内会、防災関係機関、一般参加者など、幅広い年齢層の約900人の参加を得て大変有意義な訓練となりました。



9/2 子どもから大人まで健康づくりを楽しく学べる  
千歳市健康まつり



千歳市健康まつりが4年ぶりに開催され、会場となった北ガス文化ホールには、子どもから高齢者までたくさんの方が訪れました。1階は《救急フロア》、2階は《食育フロア》、3階は《測定フロア》、4階は《健康フロア》と、テーマごとに分かれて、献血や骨髄バンクドナー登録、食生活診断、体力・健康測定、調剤体験・応急手当体験コーナーなど、幅広く《健康》について学べるイベントでした。参加者からは、「薬の代わりにお菓子（ラムネやチョコなど）が調剤されておもしろかった。将来は調剤師になりたい」「救急手当の体験は難しかったけど、誰かを助けることがあるかもしれないから挑戦した」「健康寿命を伸ばすために運動を始めようと思う」など、とても前向きなコメントをたくさん聞くことができました。

9/7 市内5社とがん予防啓発推進に関する連携協定を締結  
がん予防への取り組みを強化



市は新たに市内5企業と《がん予防啓発推進に関する連携協定》を締結しました。この協定は、市と企業が協力してがん予防啓発に関する取り組みを行うことを定めたもので、がん予防および早期発見、早期治療による市民の健康的な生活の実現を目的としています。市は平成27年度から連携企業の募集を行っており、今回の協定締結によって連携企業は33社となりました。横田市長は、「33社もの企業と行政が連携協力できてとても光栄。市民の皆さんが安心して日常生活を送れるように、日ごろから普及、啓発に取り組み、受診率を高めたい」と意気込みを述べました。

9/8 支笏湖例大祭  
水上みこし4年ぶりに待望の復活



支笏湖例大祭が開催され、御神輿を担いだまま支笏湖に入水する《水上みこし》が4年ぶりに行われました。御神輿を担ぎながら商売繁盛や支笏湖チップ豊漁、交通安全を祈願。入水時には令和3年度に策定された《支笏湖ルール》のっとり、ライフジャケットを着用しました。担ぎ手には、宿泊業関係者や陸上自衛隊第11普通科連隊第4普通科中隊などが参加。第4普通科中隊は、自衛隊への理解促進や地域との密な関わりなどを目的として毎回この行事に参加しており、中隊長の上野博康さんは、「4年前にも担ぎ手として参加し、お祭りの楽しさが印象的だった。今回4年ぶりに参加させてもらえたことがとてもうれしい」と話しました。

10-1 現在の人口

《総人口》  
98,015人（-8）  
男性 49,805人（-32）  
女性 48,210人（+24）  
《世帯》52,181世帯（-26）  
（ ）内は、前月との比較です。

Vol. 06 人物伝 渡部栄蔵

Chitose Airport 100th anniversary

大正期、サンナシの沢で飛行場への夢を語った3人のうちの一人。村議であった大正15年、小樽新聞社のパイロット、酒井憲次郎とともに着陸場の適地を選定。村民の労力奉仕による着陸場造成において、主導的な役割を担う。

明治38年、商いの決意をし、19歳の若さで佐渡から千歳村に移住する。当時はあまりの寒村に絶望したが、以来、山三の屋号を掲げて雑貨屋《渡部商店》を開き、100年以上の歴史を誇る山三ふじやグループの創業者となった。

千歳川中下流域がたびたび洪水に見舞われていたことを憂い、水害を防ぐための方法を熱心に研究。石狩と苦小牧を巨大な水路で結び、千歳川の水を流す運河構想は、渡部の持論によるもの。

数々の功績から、死去に際し、千歳町（当時）より名誉町民の称号を贈られた。

手づくりの着陸場から新千歳空港へ開港100年の歴史を振り返る

ちとせ空港 百年物語

広報ちとせからのお知らせ

広報ちとせの発行日は毎月10日です。この日までに届かないときは、次の番号にご連絡ください。なお、町内会に加入しているしていないを問いません。

広報広聴課 広報係  
☎(24)0104 FAX(22)8851